

「つながりのまち摂津」の実現へ、**改革**を推進します！

自民党・市民の会

じみんとう

しみんのかい

2022年4月
議会報告

vol.6

発行元 自民党・市民の会
摂津市三島1-1-1 摂津市役所内3F控室

摂津市議会2022年第1回定例会が、2022年2月21日～3月29日の間、開催されました。この第1回定例会は令和4年度の市の予算を決める最も重要な議会となります。

令和4年度の市の一般会計当初予算は約443億円と過去最高となりました。その要因としてはJR千里丘駅西地区再開発などの大規模事業があること、また児童虐待防止や行政のデジタル化などでの職員の増員などがあります。

課題を克服し、そして発展を続ける将来に向けた予算となりました。議会側からもしっかりと、より良いまちづくりを推進して参ります。

令和4年度の予算案が可決されました! (一部抜粋)

- 児童虐待防止 職員増加、チーム制導入等、**虐待防止強化策の実施**
- 鳥飼まちづくり **鳥飼地域の活性化**に向けた公民連携の取り組み
- 公共交通整備 将来を見据えた**市内公共交通**の在り方の検討へ
- 子育て支援 個別ケースへのスーパーバイザー配置、母子保健の充実
- シティプロモーション **ふるさと納税の返礼品**の実施へ
- 地域活動促進 **自治会**への支援等の新たな施策の検討へ
- 教育環境向上 学校運営協議会の**試行実施**へ

自民党・市民の会の代表質問

自民党・市民の会の代表質問では、合計21項目をテーマに質問を行い、鳥飼まちづくりグランドデザインや、高台まちづくりの**河川防災ステーション**の状況、防災力や消防力の向上について、また**児童虐待防止**の取り組み、児童・生徒の生きる力を育むための教育施策、また教育環境整備(体育館のエアコン設置、Wifi設置、**千里丘小学校の建て替え**など)、中小企業支援でのビジネスサポートセンターの能力向上、そして健都での**国立健康・栄養研究所**の移転での市民の健康寿命延伸の取り組み推進など多岐にわたり議論を交わしました。

代表質問を松本議員、
予算の賛成討論を
嶋野議員が実施!



議会での取り組み

嶋野浩一郎

自民党・市民の会 幹事長
6期目(議長2期歴任) / 文教上下水道常任委員会
住所 摂津市新在家1-8-7-301 電話 06-6340-5609
HP <https://ja-jp.facebook.com/koichiro.shimano>



文教上下水道常任委員会(予算)での質疑(概要)

1. 立志式の実施について

背景

教育の目的として、どのような仕事や役割を通じて社会の発展に貢献できるかを考え、その実現に向けて今後の歩みを考える、すなわち**「志」の醸成**があると考える。そこで**「立志式」**の実施の考え方について、議会にて質問。

質問

義務教育課程の9年間の中で、適切な時期(中学校2年生もしくは3年生)において**「立志式」を実施**し、自らの**「志」**を仲間や保護者、地域の方々の前で発表することは大きな**教育的意義がある**と考えるが、市の見解を伺う。

答弁

全国学力学習状況調査によると、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考える」という項目について、全国比で比べて課題がある。そのような状況を踏まえて、現在のところは、中学校2年生で実施している職種体験活動を通じて社会とのつながりを考え、自分が学んでいったことがどのように関わっていくのか、社会の役に立つのかということについて考えさせていきたいと、考えているところです。子どもたちにとって、**社会で役に立つ**というような**思いを持つ、熱い心を持つ**ということは**大切である**と感じており、**立志式**についても取り組まれている他市の状況について情報を集めて、検討していきたい。

2. 学校現場における拉致問題への啓発について

背景

学習指導要領において、主権や人権、平和など様々な課題の存在と共に、その解決に向けて様々な人々の努力が重ねられていることに気付くことができるようにすることの重要性が記されており、**拉致問題の重要性**にも触れられている。そこで具体的な学校での取り組みについて、議会にて質問。

質問

我が国が抱える**大きな人権問題に「拉致問題」**があるが、アニメ「めぐみ」を活用した教育はどのように行われているのか?

答弁

アニメ「めぐみ」の活用状況として、令和3年度では初めて、市内全校の教職員研修で活用した。授業においては小学校6校、中学校5校で取り扱っている。本市としても拉致問題は大事なことだと捉えており、校長会や教頭会を通じて、活用の事例も説明しながら、**人権課題としての拉致問題の啓発**に今後も対応していきたい。

3. 就学前教育について

背景

就学前教育がその後の子供の学びや成長に及ぼす影響は実に大きく、**義務教育との連携が重要視**されている。そこで本市の就学前教育の在り方を示した手引きが改正されるにあたり、どのような視点を盛り込むのかを議会にて質問。

質問

平成30年度に策定された**「就学前教育の手引き」**が**改訂**されるが、どのような視点を意識しているのか?

答弁

今年度の就学前教育の手引きの改訂にあたり、**就学前教育と小学校との連携**を意識し、就学までにどのような力を身につければ良いのかをリスト化し、**幼幼・小連携**に特化した内容を冊子に組み入れたいと考えている。

議会での取り組み

光好ひろゆき

2期目 / 民生常任委員会

住所 摂津市鳥飼西2-18-14-6 電話 072-665-5608

HP <https://www.mitsuyoshi-hiroyuki.com>



民生常任委員会(予算)での質疑(概要)

1. 自治会の活性化 及び負担軽減について

背景

地域コミュニティの中核を担う自治会の加入率が年々低下し、担い手不足等により組織存続の危機に直面している。これまで、自治会活動の持続可能性を高めるべく、種々要望して来た。

質問

自治会活動を支援する地域活性化事業補助金は、現在、各校区の連合自治会の事業に対して補助されている。地域活動を活性化させる為、単一自治会への支援を図るべきと考えるが見解を問う。

市答弁

議員ご指摘の通り、「単位自治会の活性化を図ることで、地域全体の活性化につながる」とのご意見を頂戴している。単位自治会を重点的に支援する為、防犯・防災活動や美化活動に関して財政的に援助する手数料について検討しており、4月開催予定の自治連合会総会の決議を得た後、令和5年度の予算化に向けて整備を進めて行く予定である。

質問

行政から自治会・町会へ依頼事項が多く、また、各課からバラバラで依頼される為、負担が非常に大きい。窓口の一本化を図り、全体を掌握した上で依頼事項やタイミングを精査し、自治会・町会への負担を軽減すべきと以前から提言しているが、見解を問う。

市答弁

各課から随時、自治会・町会に個別に依頼していた事項を、自治振興課にて集約し、自治会長・町会長が一堂に集まる4月総会及び10月定例会時に一括して依頼させて頂き、行政への提出書類に関しても、自治振興課にまとめて提出頂くことで、依頼事項を一元化し、自治会・町会の事務負担を少しでも軽減するよう努めて参る。

要望

種々具現化されたことを高く評価する。実際に運用してから見えて来ることもある為、自治会等と上手く連携を図り、これからも取り組んで頂きたい。

議会での取り組み

松本あきひこ

2期目 / 総務建設常任委員会

住所 摂津市別府1-4-6-505 電話 06-6349-2515

HP <https://www.matsumotoaki.com/>



総務建設常任委員会(予算)での質疑(概要)

1. 旧三宅スポーツセンターと 旧味舌小学校跡地について

背景

市民の公共財産である旧三宅スポーツセンターと旧味舌小学校跡地については、防災空地としての位置づけだが、最終的にどう活用するのかは決まっていない。そのため議論を進める必要がある。

質問

旧三宅スポーツセンターと旧味舌小学校跡地(空き地側)について、将来的な活用方法について問う。

市答弁

三宅並びに味舌(仮園舎後)の将来的な活用方法について、現在のところ決まっていない。

要望

これらについては市民の公共財産として、このまちに住みたいと思ってもらうために豊かな住環境の構築に活かすべきである。例えば、旧味舌小学校跡地の防災空地は、にぎわいを創出する公園として芝生化して、一部を舗装化してキッチンカーやイベント空間をつくり、旧三宅スポーツセンターは耐震化されていない建物を解体して、今の環境をさらに活かすためのスポーツが楽しめる公園、スポーツ文化の増進と健康増進につなげていく拠点とするなど議論を進めるべきである。

2. 正雀駅前道路 改良事業について

背景

阪急正雀駅前の道路拡幅事業の中で、道路拡幅だけでなく駅前広場整備の考えが生じており、その構想を確認する必要がある。

質問

歩道整備と併せて、こちらの広場をできれば確保していきたいということだが、市の考えを問う。

2. 福祉タクシー 事業について

背景

福祉タクシー利用助成対象が、現在、身体障害者手帳1、2級及び療育手帳A所持者に限っており、これまで、対象者拡大を要望して来た。

質問

令和4年度は、福祉タクシー利用助成対象に、以前より提言していた「精神障害者保健福祉手帳1級」の所持者を追加して頂き、感謝する。新たに対象となる方の想定と周知方法について問う。

市答弁

令和4年2月末時点で、精神障害者保健福祉手帳1級所持者は52人であるが、新規対象者は40人前後となる。周知については、早い段階で、対象者へ案内文書を送付し、HPや広報せつへの掲載を考えている。

要望

対象者のみならず、介護者や関係者への周知も並行して実施すべきである。また、実績が増えてくれば予算措置の必要性も出て来る為、適宜、対応頂きたい。

3. 健康マイレージ 事業について

背景

市民が楽しみながら気軽に健康づくりに取り組める「健康マイレージ」を、事業開始以来推奨し、無関心層や若年層の獲得へ向け、インセンティブ拡充等を提言して来ており、令和4年度で5年目を迎える。

質問

歩くことなどでポイントが貯まる健康マイレージ事業は、毎年、参加者獲得に向け、色々な工夫を重ねているが、令和4年度は、どの様に展開されるのか見解を問う。

市答弁

令和3年度は更なる参加者獲得を目指し、インセンティブ等を拡充した。令和4年度も、マイレージポイント付与対象事業を増やせるよう、積極的に他課のイベントとの連携やコラボ企画に取り組み、相乗効果を図って参る。また、獲得ポイントが6,000ポイント以上の方に自動抽選で当たる商品若者が魅力的に感じるものも選定して行く。

要望

コロナ禍だからこそ、ウォーキングは誰でも気兼ねなく取り組める健康づくりの一つであり、更なる参加者拡大に向け、期待している。また、自然に健康になれる仕組みづくりや、行動変容を促す仕掛けづくり、或いは、健康無関心層へのアプローチが重要と考える。これからも、鋭意取り組んで頂きたい。



市答弁

道路事業以外の部分について、土地の確保の可能性が出てきたことから、正雀駅前のポテンシャルの高い駅前における用地を確保して、にぎわいづくりが創出できる空間として用地を確保してまいりたい。

要望

広場としてにぎわいをつくる場として地域とワークショップ等を開くことも認識したが、地権者との交渉が重要である。市としてどうあるべきか考えを持つことも必要で、それが今後の交渉の姿勢として問われる。しっかりと取組むよう要望する。

3. 防災士資格補助と 防災サポーターについて

背景

防災サポーターは3年間の募集が終わり、今後は有事でどのように避難所運営に携わって頂くか等、活躍して頂けるよう計画整備が求められる。また防災士資格補助は継続され、補助の際には防災サポーターに登録される。

質問

防災士資格補助については、防災サポーターの登録と防災サポーターの講座を受けるといふことでのよいのか。

市答弁

防災士補助の際に、我々から防災サポーターの役割に軸足を置いた講座を受講して頂き、そして防災サポーターに登録して頂く。

要望

防災サポーターの方がしっかりと連携して摂津市の安全・安心のまちづくりに貢献する、あるいは有事のときに活躍していただける、その取り組みを進めるよう要望する。

駅前等再開発特別委員会(予算)での質疑(概要)

千里丘駅西地区 再開発事業について

背景

令和4年度は再開発事業の中で、権利変換計画を作成するという一番大きなキープポイントである。また、これまで地権者等との交渉においては、丁寧で市民に寄り添った対応を市に要望している。それら状況等について確認した。

質問

事業のコンセプトについて、どのように進化しているのか。

市答弁

本事業は、新たに人を呼び込む事業だと考えて、特に、子育て世代の方が訪れれば、にぎわいの創出につながるのではないかと、商業業務施設等は、子育て世代をターゲットとして、ゾーニング等を検討している。

要望

近隣のJR沿線では、唯一千里丘駅が、子育て、健康、その2つを組み合わせたコンセプトを取ることができる。追及して頂きたい。

